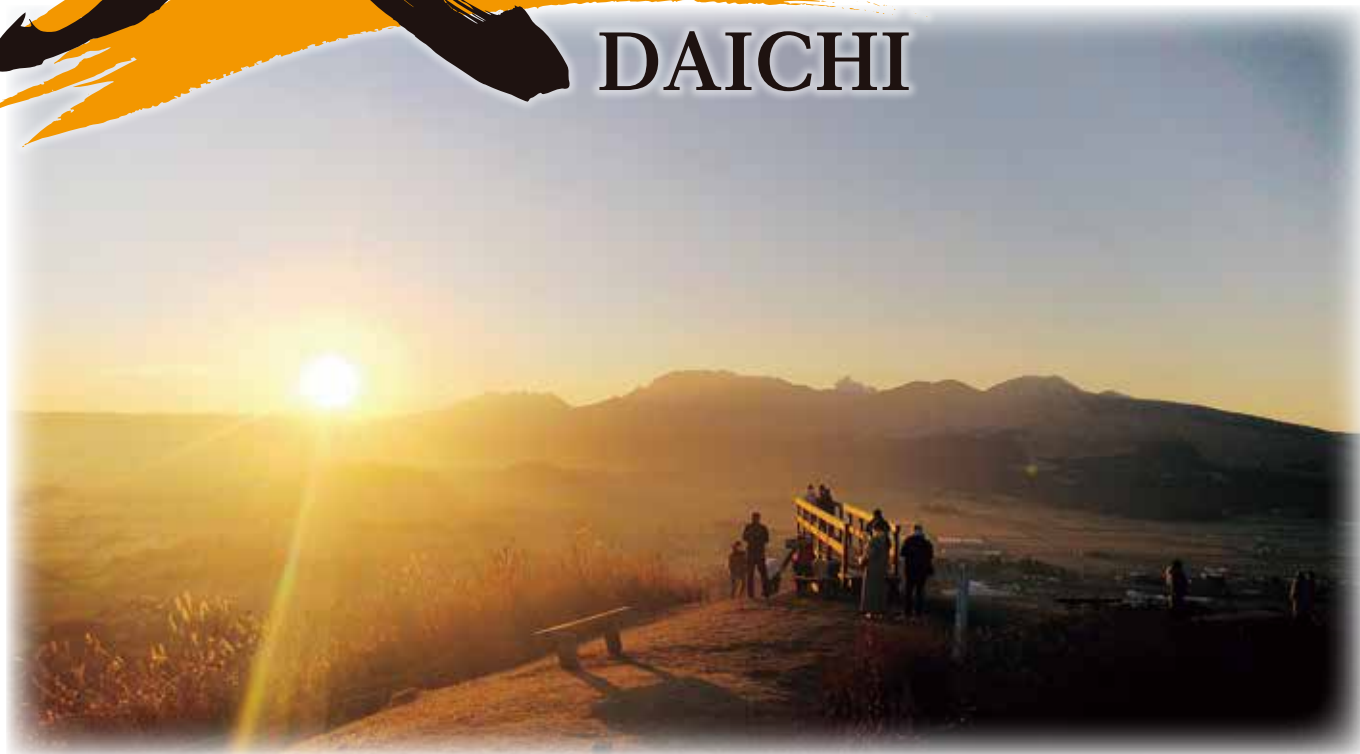


大地

DAICHI

Vol.72

R4 新年号



初日の出に映える涅槃像(ねはんぞう) 令和4年元日 熊本県阿蘇市

「阿蘇山」は単体の山ではなく根子岳・高岳・中岳・烏帽子岳・杵島岳などを総称した呼称で、五つの岳を総称して「阿蘇五岳」と呼ばれます。これら阿蘇五岳は、北側外輪山の大観峰から眺めると、ちょうど「涅槃像(ねはんぞう)」のように見えることもあり、山岳修験者による信仰や民衆による火口参詣など、阿蘇山は古来より畏敬の対象として人々に崇められてきました。

Contents

ご挨拶

- 新年のご挨拶 熊本県土地改良事業団体連合会 会長 荒木 泰臣 …… 1
- 第17期(平成31年4月～令和5年3月末日) 役員名簿 …… 1
- 新年にあたって 全国土地改良事業団体連合会 会長 二階 俊博 …… 2
- 新年のご挨拶 全国水土里ネット会長会議 顧問
参議院議員 進藤 金日子 …… 3
- 新年のご挨拶 全国水土里ネット会長会議 顧問
参議院議員(農林水産大臣政務官) 宮崎 雅夫 …… 4

- 水土里ネット熊本会務の遂行方針 会訓(スローガン)の決定 …… 7
- 始動!ため池サポートセンター!! …… 7
- 緑の流域治水への支援(田んぼダムせき板設置式典と農福連携) …… 8
- 「令和3年度水土里ネット役員研修会」を開催 …… 8

ACTION

- 「第43回全国土地改良大会群馬大会」が開催(オンライン) …… 5
- 「令和3年度全国土地改良事業功績者表彰」表彰状伝達式を開催 …… 5
・農林水産大臣表彰 中嶋 憲正氏(県土連前副会長・前山鹿市長)
・全土連会長表彰 野々口 秀信氏(麻生原堰土地改良区理事長)
- 「農業農村整備の集い」が開催 …… 6
- 土地改良事業団体連合会九州協議会(本会会長県)による要請活動 …… 6

INFORMATION

- 「令和3年度くまもと水土里ネット女性の会研修会」が開催 …… 9
- 水土里ネット熊本へようこそ!熊本市立龍田西小児童が職場訪問 …… 9
- 世界かんがい施設遺産サミット in Kumamotoの開催について …… 10
- 令和4年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要 …… 10
- 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021入賞作品 …… 11
- 土地改良法律相談のご案内 …… 11
- 複式簿記・財務管理強化へのサポートのご案内 …… 11
- 第44回 全国土地改良大会沖縄大会のお知らせ …… 11



水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)

新年のご挨拶

熊本県土地改良事業団体連合会 会長 荒木 泰臣

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝のうちに新年をお迎えることとお慶びを申し上げます。また、日頃から本会の業務運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、一年を通して新型コロナウイルス感染症に翻弄された年でした。そのような状況下、令和2年7月豪雨災害の被災地から届く復旧・復興の便りは、私たちに大きな希望を与えてくれました。

また、創造的復興に取り組まれている熊本県が進める“緑の流域治水”（田んぼダム等）には、大きな可能性を感じているところです。未来へ向けて、確実にその一歩を踏み出した被災地の復旧・復興にご尽力いただいている農家の皆様、行政機関や土地改良関係者の方々に心から敬意を表します。

さて、令和4年度の農業農村整備関係予算額につきましては、全土連の二階俊博会長を先頭に、進藤金日子顧問並びに宮崎雅夫顧問はじめ、各方面における関係者の方々のご努力により、補正予算と当初予算を合わせて本年度と同水準の予算が確保されることとなりました。この農業農村整備は、農業の生産性を向上させるだけでなく、農地の基盤整備や農業水利施設等の機能強化は、農村地域の防災・減災対策として国土強靱化につながる役割を担っており、予算額の確保はその重要性について、広く国民の理解が進んでいることを示すものでもあります。

また、昨年10月に誕生した岸田内閣におきましては、「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた取り組みが進められております。社会全体でデジタル技術の活用が急速に進展する中、産業人口の減少・高齢化が進む農林水産分野においては、生産力の向上と持続性の両立を図り、魅力のある産業としていくために、デジタル技術を活用したスマート農林水産業を推進することが不可欠であります。本会といたしましては、長年培ってきた技術と経験を最大限に活かし、本会が果たすべき役割と使命を全うし、「国の礎」である農業の持続的発展と、活力ある農村の実現と併せて、このデジタル社会の実現に向け各関係団体と協力し、会員の皆様と共に役職員一丸となって取り組んで参ります。

結びとなりますが、本年が穏やかな一年でありますとともに、皆様にとりましてコロナ禍を乗り越えた希望に満ちた一年になりますよう心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

●第17期(平成31年4月～令和5年3月末日) 役員名簿(令和4年1月現在)

監事	監事	総括監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副会長	副会長	会長
岡村 文明 (百太郎溝土地改良区理事長)	北野 安正 (熊本平野南部土地改良区理事長)	吉良 清一 (南阿蘇村長)	中村 三千人 (小宮地新田地区土地改良区理事長)	森本 完一 (錦町長)	竹崎 一成 (晋北町長)	藤本 一臣 (永川町長)	本田 二男 (阿蘇土地改良区理事長)	古庄 廣美 (酒水町土地改良区理事長)	後藤 三雄 (菊陽町長)	早田 順一 (山鹿市長)	中逸 博光 (長洲町長)	新野 真司 (熊本市南土地改良区理事長)	村上 義博 (熊本市南土地改良区理事長)	久保田 修 (学識経験者)	元松 茂樹 (宇土市長)	坂田 孝志 (八代平野北部土地改良区理事長)	荒木 泰臣 (嘉島町長)

新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会 会長 二階 俊博

令和4年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が世界各国で拡大する中で、新しい年を迎えることとなりました。

皆様には、新型コロナウイルス感染防止のためにできることを今一度ご確認いただき、コロナ禍を共に乗り越えて頂きたいと願っております。

さて、昨年3月に新たな土地改良長期計画が策定され、三つの政策課題に取り組むこととされました。生産基盤の強化による農業の成長産業化、多様な人が住み続けられる農村の振興、農業・農村の強靱化といった政策課題に対して具体的な施策が定められ、中でもスマート農業実装の加速化、ため池の防災対策の集中的かつ計画的な推進、流域治水の推進は、今後の農業農村整備を進める上で大事な要素となってくるものです。

令和4年度予算につきましては、これらの政策課題の解決に向け、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,468億円を確保することができました。この結果、令和3年度の補正予算を含めると6,300億円となります。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

一方、第五次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても土地改良区等の女性理事登用が成果目標とされたところであり、我々、土地改良団体においても将来の組織体制強化のためにも、女性参画を進めていかなければなりません。

私たち土地改良に携わる者としましては、政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におき農業農村の振興に積極的に貢献していくことが重要であると考えております。また、農業農村の維持、発展に大きく貢献していることについて広く国民の皆様へアピールし、共感を得ていく努力も必要であります。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう引き続き奮闘して参りたいと思います。

また、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員が元気に全国を飛び回り、まさに「車の両輪」となって活躍されています。本年は進藤さんの2回目の闘いとなりますが、今後は、進藤さん、宮崎さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。



全国土地改良事業団体連合会
会長 二階 俊博



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員

進藤 かねひこ
金日子

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、熊本県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいているから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。熊本県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

農山漁村は日本の命綱

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。



参議院議員
かねひこ
進藤 金日子

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員（農林水産大臣政務官）

宮崎 雅夫

熊本県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに関係の皆様にご挨拶申し上げます。旧年中は多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月発足の第二次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝命いたしました。これも偏に熊本県の皆様ならびに、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層努力して参る所存ですので、引き続きご指導くださいますようお願いいたします。

さて、ここ2年に亘って農林水産業はじめ各方面に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力により、昨秋以降の新規感染者数は低位に推移していますが、新たな変異株による感染拡大も懸念される昨今の状況からは決して油断することはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は極めて重要であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には、皆様のご協力により令和4年度当初予算案が閣議決定されるとともに、臨時国会において令和3年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業関連予算として合計6,300億円を確保することができました。

令和4年度当初予算案においては、前年度の当初予算を上回る4,468億円を確保し、農地の大区画等の推進、水利施設・ため池等の老朽化対策や流域治水などを推進することとしています。また、令和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強靱化対策の加速化に必要な1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりと応え得る規模となっています。

また、これから国会で議論される令和4年度当初予算に関連して、土地改良法の改正を検討することとしており、主な事項としては、地震対策として行われてきた、ため池等の急激な防災事業に豪雨対策を追加すること、農地中間管理機構関連農地整備事業の対象工種に農業用水路等を追加すること、市町村や土地改良区による防災対策事業の機動的実施のため、土地改良事業団体連合会による技術的支援等を可能とすること、また、組織の維持が困難となった小規模土地改良区について、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる手続きを規定することなどが予定されています。予算と制度が車の両輪となって土地改良が円滑に実施され効果が確実に発現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張る所存です。



これからも皆様とともに土地改良を着実に推進するため、大切なもう一つの車の両輪である、熊本県に縁の深い進藤金日子議員と一緒に国政で行けるよう、熊本県の皆様にご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様一人おひとりご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお祈りいたします。



参議院議員
（農林水産大臣政務官）
宮崎 雅夫

●「第43回全国土地改良大会群馬大会」が開催(オンライン)

昨年より1年延期されていた第43回全国土地改良大会群馬大会が、令和3年10月6日(水)にGメッセ群馬において開催された。当大会は新型コロナウイルス感染症の蔓延を踏まえて、無観客(オンライン)による開催となり、リアルタイムでのYouTube配信が行われた。

大会の開会にあたり、群馬県土連熊川会長が開会挨拶され、続いて二階俊博全土連会長が主催者を代表し挨拶された。その後、山本一太群馬県知事などからの歓迎のことばや、金子原二郎農林水産大臣より祝辞が述べられた。続いて、全国土地改良事業功績者表彰が行われ本県からは、農林水産大臣表彰に熊本県土地改良事業団体連合会前副会長(前山鹿市長)の中嶋憲正氏が、全土連会長表彰に麻生原堰土地改良区の野々口秀信理事長が、それぞれ栄に浴され長年にわたる土地改良事業の推進に貢献された功績が称えられた。大会の締めくくりでは、次期開催県である沖縄県へ大会旗に代わり目録を受け渡す形で受け継がれ、群馬大会は幕を閉じた。



関係者のみが出席する会場へ入場する熊川会長と大会旗



本会は本部事務所にオンライン会場を開設し、群馬大会の視聴を行った

●「令和3年度全国土地改良事業功績者表彰」表彰状伝達式を開催

全国土地改良事業功績者表彰式は、例年全国土地改良大会において行われているが、本大会が無観客開催となったことから、当日は各受賞者の紹介のみが行われた。大会終了後、速やかに受賞者へ贈られる表彰状並びに記念品が本会に送付された。

この全国土地改良大会における表彰式に代わる式典として、熊本県土地改良事業団体連合会主催による表彰状伝達式を荒木会長はじめ本会役員及び、幹部職員出席のもと令和3年12月17日(金)にメルパルク熊本にて開催した。



受賞者と共に記念撮影
左より 坂田副会長、野々口理事長、荒木会長、中嶋氏、元松副会長

【農林水産大臣表彰】

熊本県土地改良事業団体連合会前副会長(前山鹿市長)

中嶋 憲正氏 お喜びの声

この度、農林水産大臣表彰を頂き、身に余る光栄と存じます。これもひとえに熊本県土連の荒木会長をはじめ県内土地改良関係者皆様からのご指導、ご支援のおかげであります。退任後の現在は、私の原点である農業に従事しており、今まで以上に土地改良事業並びに土地改良区の重要性を感じているところであります。皆様の今後ますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げますとともに、多くの方々と共に活動ができたことに対し心より感謝申し上げます。大変お世話になりました。



熊本県土連前副会長
(前山鹿市長)
中嶋 憲正氏



ご功績
まとめ

【全国土地改良事業団体連合会会長表彰】

麻生原堰土地改良区理事長 野々口 秀信氏 お喜びの声

この度、全国土地改良事業団体連合会会長賞を頂きまして、誠に光栄に存じます。今回の表彰は、これまでの活動を振り返る良い機会となりました。多くの方々から様々なことを教わり、助けられ土地改良区理事長を続けることができいております。これもひとえに関係各位皆様のご尽力のおかげと厚く御礼申し上げます。今後とも、より一層努力をして参りますので、皆様方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



麻生原堰土地改良区
理事長
野々口 秀信氏



ご功績
まとめ

●「農業農村整備の集い」が開催

「農業農村整備の集い」～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～が全国水土里ネット及び都道府県水土里ネットの共催により、令和3年11月16日(火)、東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて開催された。

金子原二郎農林水産大臣、武部新農林水産副大臣、宮崎雅夫農林水産大臣政務官、進藤金日子参議院議員をはじめ農村振興局幹部、衆参両院の国会議員約20名が出席し、万全の感染症対策を施し土地改良関係者を合わせて約600名が参集し開催された。

二階俊博全土連会長の主催者挨拶では、全国各地から出席頂いた関係者に対し謝辞が述べられた後、適正額の予算確保や国土強靱化対策の延長と予算化に対して感謝の意などを示された。続いて、水土里ネット沖縄(次期全国土地改良大会開催地)の古謝景春会長より要請案文が朗読されると満場一致で採択。最後は、男女共同参画の趣旨を踏まえ、あいち水土里ネット女性の会加藤会長、やまぐち水土里ネット女性の会斎藤会長及び北海道土連(全土連出向)松野氏の男女3氏による力強い「ガンパロウ」の発声後盛大な拍手で応え、予算確保等要請の実現に向けた気運を上げた。



「農業農村整備の集い」会場の様子



二階全土連会長による主催者挨拶



予算確保等要請の実現に向け一致団結!!



関係国会議員及び関係省庁に提出された要請書

●土地改良事業団体連合会九州協議会(本会会長県)による要請活動

令和3年12月2日(木)から3日(金)にかけて、土地改良事業団体連合会九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会合同での農林水産省・財務省・総務省並びに関係国会議員等、関係機関に対する合同要請・要望活動を熊本県土連が両協議会の会長県として行った。

要請・要望活動では、熊本県選出の金子恭之総務大臣、農林水産省の金子原二郎農林水産大臣(長崎県選出)、宮崎雅夫農林水産大臣政務官(全国水土里ネット会長会議顧問)、牧元農村振興局長、川合整備部長、財務省の野村主計官、自民党本部の梶山幹事長代行へ面談し、R4当初予算の確保及び地財措置の充実など要望書記載の6項目について、積極的な要請・要望活動を展開した。



金子恭之総務大臣への要望書手交[総務大臣室にて]



農業農村整備事業に関する要望書



金子原二郎農林水産大臣への要望書手交
[農林水産大臣室にて]



宮崎雅夫農林水産大臣政務官への要望書手交
[農林水産大臣政務官室にて]



梶山弘志自民党幹事長代行への要望書手交
[自民党本部 幹事長代行室にて]

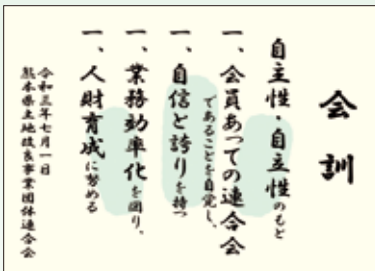
● 水土里ネット熊本 会務の遂行方針 会訓(スローガン)の決定

久保田常務理事は、会務の遂行方針を定め本会全職員を参集し宣言式を行った。(令和3年10月21日第1回理事会承認)

宣言式では久保田常務理事より、会務の遂行方針について、連合会の自主性・自立性のもと、「会員(市町村、土地改良区等)あつての連合会として、その期待に応えていくことが、私たちの使命であることを再認識してほしい。また、連合会の歴史を振り返り、受け止めることも重要である。過去、厳しい運営状況下にあった九州北部豪雨災害や熊本地震、令和2年7月豪雨災害など未曾有の大災害に幾度も見舞われた。被災した会員に対し真摯に対応してきたことで、公共性の高い連合会への期待の高まりがみられた。今後も継続して責任ある行動をとり、社会的信頼を築き上げ、自信と誇りを持って仕事に取り組んで頂きたい」と述べた。

続いて、「日常の業務の中で課題を見つけた場合は、具体的な解決策を常に考え、行動をとって頂きたい。このことが業務の効率化に繋がっていく。最後に人財(人材)育成として、組織にとって職員は財産であり、単なる労働力ではない。その財産(人材)を大切に扱い育てていくことが、会員支援の充実と、組織の体制強化へと繋がる」と、この遂行方針について説明された。

最後に、「会訓は連合会の方針であり、主役は職員一人一人。私は常務理事として、全力でバックアップする」と力強く宣言された。



「会訓(スローガン)」の決定



会の遂行方針について説明される久保田常務理事

● 始動!ため池サポートセンター!!(令和3年6月1日より業務開始)

本会は令和3年5月31日(月)、ため池管理者へ適正な管理保全に必要な技術的指導や助言などを行うことを目的とし、専門職員が対応する「熊本県ため池サポートセンター」を開設した。同センターは県からの委託を受けて本会が運営し、事業部農地・農村整備課内の組織として活動を行う。センター長は吉岡康成課長が兼務。専門職員が常駐し、管理者からの相談や、ため池の突発事故、豪雨等による決壊を未然に防止するため日常点検の技術指導や現地パトロール、技術的な研修会などの啓発活動をワンストップで対応する。

同センター開所式では、主催者挨拶として荒木県土連会長より「農業用ため池が起因となる災害などを未然に防ぐことが出来るようしっかりと対応して参る」と挨拶。次に来賓挨拶として、木村熊本県副知事より「同センターを核として県内農業者が未来永劫、安心して農業に従事していけるようにしたい」と述べられた。続く来賓挨拶では、元松県ため池協議会会長(宇土市長・県土連副会長)より「それぞれのため池が抱える問題や課題を明確にし、県ため池協議会と実働部隊である同サポートセンターが、がっちりとスクラムを組んで本格的な対策に取り組んでいく」と述べられた。最後に坂田県土連副会長より「今後、県内のため池を計画的かつ安定的に維持管理していくのは極めて重要であり、このセンターがしっかりとサポートして参る」と力強く閉会の言葉を述べられた。



「熊本県ため池サポートセンター」開所式



「熊本県ため池サポートセンター」看板と共に記念撮影

左より 渡邊農村振興局長、早田熊本県ため池協議会副会長、元松熊本県ため池協議会会長、木村熊本県副知事、荒木県土連会長、坂田県土連副会長、久保田県土連常務理事



荒木会長より主催者挨拶 木村副知事より来賓挨拶 元松ため池協議会会長(宇土市長)より来賓挨拶 坂田副会長より閉会挨拶

▼詳細はこちら



熊本県ため池サポートセンター活動概要

● 緑の流域治水への支援(田んぼダムせき板設置式典と農福連携)

令和2年7月豪雨災害に伴う球磨川流域の治水対策として熊本県が取り組む「緑の流域治水」に対して、本会も県からの業務委託及び人吉球磨地域土地改良区連絡協議会、球磨川流域水土里ネット連携協議会などの活動を通して、その取り組みを積極的に支援しています!!

令和3年5月22日(土)に開催された「田んぼダムせき板設置式典」(熊本県主催)には地元小学生の他、蒲島県知事、小早川県議会議長及び、松岡人吉市長をはじめとする地元関係者と共に「くまモン」も参加し、子供たちにより彩られた「カラフルな田んぼダムせき板」が取り付けられました。



福祉施設による田んぼダムせき板の制作



蒲島知事と地元小学生による田んぼダムせき板設置式



子供たちの思いが込められた田んぼダムせき板

「緑の流域治水」(田んぼダム等)の普及・拡大を図るため、農業関係者のみならず様々な方々がこの取り組みに参加しています。

令和3年度より人吉球磨管内の約300haの水田をモデル地区として、その効果や課題の検証が行われています。



県立南陵高校生から地元小学生へ田んぼダムの勉強会



モデル地区における田んぼの学校(田植え体験)

● 「令和3年度水土里ネット役職員研修会」を開催

令和3年11月1日(月)、熊本市のメルパルク熊本において本会と熊本県の共催で、土地改良区の運営基盤強化を目的として、「令和3年度水土里ネット役職員研修会」が開催された。この研修会は、新型コロナ感染拡大防止に伴う熊本県のイベント等の開催制限方針の遵守と併せて、参加人数を制限し県内45土地改良区より約80名が参加した。

開会にあたり、主催者挨拶として久保田常務理事より「新型コロナ新規感染者が減少傾向にあるこのタイミングで土地改良関係者の皆様にお集まり頂き、2年振りに研修会が開催でき大変感慨深い」と述べられた。その後、進藤金日子参議院議員及び宮崎雅夫参議院議員(農林水産大臣政務官)から、WEBによる来賓挨拶が述べられた。

研修会では、熊本県農地整備課 青木課長より「国及び熊本県の農業情勢について」、ひとよし土地改良区高野理事長から「令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興「緑の流域治水」(田んぼダム)への取り組み」について、それぞれご講演頂いた。研修会の合間には日赤熊本健康管理センターの運動指導士による「ロコモ体操」(ストレッチなど)が行われ、参加者全員がスッキリした様子で、後半の講義に臨んだ。



久保田常務理事より主催者挨拶



宮崎雅夫農林水産大臣政務官及び進藤金日子参議院議員によるWEB来賓挨拶



青木課長による講演



高野理事長による講演



清藤課長より閉会挨拶

研修会の後半では、土地改良区の方々にとって重要で関心度が高い案件である「土地改良区的女性理事登用推進及び適正な運営」について、熊本県農村計画課 平松課長補佐より、「複式簿記の移行期間に押さえておきたい8つのポイント」について、本会総務課西岡係長より、それぞれに実務者の視点からご講演頂いた。

最後に、熊本県農村計画課 清藤課長から、今後県が進める特に重要な取り組みについて、詳しい説明を交えた閉会挨拶により研修会は閉会した。



ロコモ体操の様子

●「令和3年度くまもと水土里ネット女性の会研修会」が開催

令和3年12月14日(火) 本会3階研修室にて、くまもと水土里ネット女性の会会員46名が参加し、「令和3年度くまもと水土里ネット女性の会研修会」が開催されました。金子会長(幸野溝土地改良区事務局長)より開会挨拶の後、久保田常務理事からの来賓挨拶がありました。また、進藤金日子参議院議員並びに宮崎雅夫参議院議員(農林水産大臣政務官)よりWEB来賓挨拶として、活動への励ましの言葉が述べられました。



進藤金日子参議院議員によるWEB来賓挨拶



金子会長(幸野溝土地改良区事務局長)より開会挨拶



熊本県土連久保田常務理事による来賓挨拶



研修会の様子



宮崎雅夫参議院議員(農林水産大臣政務官)によるWEB来賓挨拶

▼研修会(第1部) 九州農政局 土地改良管理課 田中課長補佐



研修会の第1部では、九州農政局 土地改良管理課 田中課長補佐より「土地改良区における男女共同参画について」と題して、オンラインでご講演頂きました。

▼研修会(第2部) 複式簿記に関する勉強会



第2部は、各土地改良区で導入されている会計ソフトごとに3つのグループに分かれてワークショップ形式にて、複式簿記導入に関する勉強会が行われました。

●水土里ネット熊本へようこそ! 熊本市立龍田西小児童が職場訪問!!

令和3年11月4日(木)、熊本市北区の熊本市立龍田西小学校の2年生8名及び担当の先生が、職場見学の一環「町たんけん学習」で水土里ネット熊本本部事務所へ来訪されました。

この「町たんけん学習」は、地域の職場での仕事の様子を見学することで働くことの大切さや意義を理解してもらうとともに、児童の将来の夢や目標について考える機会を与えることを目的とされており、3年前から毎年本会へも来訪されています。

まず、久保田常務理事より歓迎の挨拶があり、その後本会職員が水土里ネット熊本の全体及び各課の仕事内容の説明を行いました。児童たちは熱心にメモを取り、初めて見る地下水涵養や農業用水の仕組みがわかるジオラマ模型やドローン、測量機器にも興味津々。後日、お礼のお手紙も届きました。

「また、いつでも遊びに来てね!!」「大きくなって一緒におしごと出来たらいいね♡」



久保田常務理事からの歓迎の挨拶



各課の仕事内容説明



測量機器をのぞき込む児童 学校までの距離はどれくらいかな?(*^_^*)

●世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto の開催について

令和4年4月11日(月)、12日(火)に全国初となる「世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto」が開催されます。

世界かんがい施設遺産とは、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資するため、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会(ICID)が認定・登録する制度です。

登録により、かんがい施設の持続的な活用・保全方法の蓄積、研究者・一般市民への研究機会の提供、かんがい施設の維持管理に関する意識向上に寄与するとともに、かんがい施設を核とした地域作りに活用されることが期待されています。



令和4年(2022年) 4月11日(月)・12日(火)

○講演、パネルディスカッション、大会宣言

4月11日 13:00開会 16:15(予定)閉会

会場 熊本城ホール シビックホール

定員 250名(事前予約制・先着順) ※参加費 無料

【基調講演】佐藤 洋平氏 東京大学名誉教授、ICID日本国内委員会 前委員長
 (議題) 世界かんがい施設遺産の意義と今後の発展に向けて(仮)

【パネルディスカッション】世界かんがい施設遺産の保全と利活用 - 熊本から考える(仮)
 【コーディネーター】 岸 裕二氏 株式会社ワークス代表取締役
 渡 武英氏 京都大学大学院農学研究科 准教授

○流域別現地検討会(エクスカーション)

4月11日 夕方 ~ 12日 熊本県内の世界かんがい施設遺産が所在する河川流域にて実施
 (菊池川コース、森川コース、緑川コース、球磨川コース)

定員 100名(1コースあたり25名程度) ※事前予約制・先着順

【参加対象者】世界かんがい施設遺産登録地区の施設管理者(土地改良区等)・市町村、都道府県、都道府県土地改良事業団体連合会、学識経験者などの国内関係者 ほか

主催:世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto実行委員会
 (事務局:熊本県 農水局 農産政策課 TEL 096-328-2463・FAX 096-351-2030)

▼ 開催概要 ▼

1. 講演会等
 令和4年4月11日(月) 13時開会、16時15分閉会予定
 熊本城ホール シビックホールにて実施 (WEB配信も実施予定)
 定員 250名(事前予約制・先着順)
 (1) 基調講演 (2) パネルディスカッション
 (3) 大会宣言

2. 流域別現地検討会(エクスカーション)
 令和4年4月11日(月) ~ 12日(火)
 ※前項(1)の講演会等が終了次第、各コースに分かれて移動
 定員 100名(1コースあたり25名程度) ※事前予約制・先着順
 熊本県内の世界かんがい施設遺産が所在する河川流域で実施
 (菊池川、白川、緑川、球磨川の4コース)

▼ 主催 ▼
 世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto 実行委員会

▼ 参加対象者 ▼
 世界かんがい施設遺産登録地区の施設管理者(土地改良区等)・市町村、都道府県、都道府県土地改良事業団体連合会、学識経験者などの国内関係者 ほか
 ※WEB配信(熊本市の公式YouTubeチャンネルを予定)は、一般の方も事前登録不要で視聴可能です。

詳しくはこちら ▶
 熊本市ホームページ

●令和4年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

農林水産省は、令和4年度農村振興関係予算概算決定の概要並びに令和3年度補正予算を公表しました。

(単位:億円)

区分	令和3年度 当初予算	令和4年度 当初予算A	令和3年度 補正予算B	合計 A+B
農業農村整備事業(公共)	3,333 (3,317)	3,337 (3,322)	1,832	5,169 (5,154)
農業農村整備関連事業(非公共) (農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金)	518	540	-	540
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	595	591	-	591
計	4,445 (4,430)	4,468 (4,453)	1,832	6,300 (6,285)

(注) 1 表の()書きは、政府情報システム予算15億円を除く。
 2 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

詳細はこちら▶
 農林水産省資料



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021入賞作品

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021へのたくさんのご応募、誠にありがとうございました。

おかげをもちまして、全国から4,120点、熊本県から42点の応募があり、厳正なる審査の結果、入賞6点、企業賞27点、入選150点、地域団体賞45点が選ばれ、熊本県からは企業賞として1点、佳作として3点の作品が選ばれました。来年度も引き続き、県や市の教育委員会を通じ小学校や幼稚園、保育園へご案内いたしますので、関係の皆様方には、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

熊本県の入賞作品

企業賞 東米商グッドスマイル賞



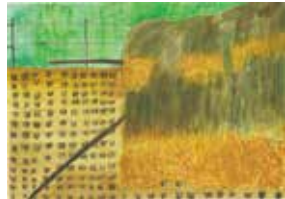
「がんばった分だけごはんがおいしい」
帯山小学校 6年 柳澤 花音さん

佳作



「とんぼとぼく」
五和小学校 3年 大田 幸慈さん

佳作



「金色に光る稲」
五和小学校 3年 臼木 琉峨さん

佳作



「みんなのだいじなため池」
豊福小学校 2年 北岡 千幸さん

土地改良法律相談のご案内

問題解決をサポートします!

近年、土地改良事業を取り巻く環境は、施設の多様化や農村地域の都市化・混住化により諸問題等が複雑化・高度化してきています。こうしたことから、本会では土地改良相談等事業により法律に関する相談業務を弁護士に委嘱し、会員の皆様の問題解決に努めておりますので、問題等がございましたらご相談ください。なお、相談内容についての実例を、ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

相談窓口・担当課：会員支援課 会員支援係 野村 電話：096-348-8802 (直通)

複式簿記・財務管理強化へのサポートのご案内

土地改良法の一部改正により、土地改良区等は令和4事業年度から貸借対照表の作成が義務付けられました。このことから、本会の職員（会計指導員）が複式簿記の巡回指導をおこない、土地改良区等の円滑な複式簿記導入を支援しています。

また、財務管理に関するサポートとして本会職員（会計指導員）が顧問税理士と協力し電話やメールによるご相談にお答え致します。詳細は、ホームページに記載しております。是非ご覧ください。

相談窓口・担当課：総務課 経理係 電話：096-348-8801 (直通)
西岡 kenji.nishioka@higosanae.or.jp 石井 daisuke.ishii@higosanae.or.jp



第44回 全国土地改良大会沖縄大会のお知らせ

●第44回全国土地改良大会沖縄大会が開催されます。

令和4年11月22日(火) 第44回全国土地改良大会沖縄大会(全国土地改良事業団体連合会、沖縄県土地改良事業団体連合会主催)が、「沖縄アリーナ」を会場に開催されます。



みどり
水土里ネット

新しい農業農村を目指して

大地 Vol.72

令和4年新年号

■発行所 / 水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)
■編集発行人 / 荒木泰臣



熊本市北区
龍田陳内3丁目15番1号

